



職場紹介

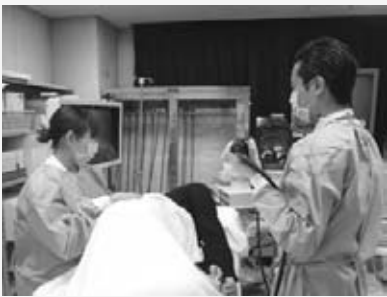
内視鏡室



内視鏡室では、食道・胃・十二指腸・大腸・胆道・気管支などを内視鏡を使い観察し、病気の診断、治療や人間ドックの胃・大腸の健診を行っています。

お腹を切らずに内視鏡を使用して手術（治療）を行うことも出来ます。例えば早期の胃癌、食道癌、大腸癌の病巣を切除する粘膜下層切除術（ESD）や大腸ポリープ切除術、消化管出血に対する止血術、結石や胆管癌で胆汁が十二指腸に流れなくなった時（閉塞性黄疸）などに内視鏡を使い、溜まった胆汁を排出するためにチューブを挿入する内視鏡胆管ドレナージ術（EBD）、食道静脈瘤に対する食道静脈結紮術（EVL）、嚥下障害や摂食できない患者様への経皮的内視鏡胃瘻造成術（PEG）など、年間合計10,181件（H24）行っています。

緊急の検査にも対応できるようコール体制で24時間待機しています。



検査の際に介助

検査中は患者様の緊張を和らげるように声をかけて、検査終了まで安心して検査が受けられるような雰囲気作りと状況の把握、異常の早期発見、安全の確保など、検査・治療が円滑に行えるように介助しています。

機器の管理



毎日、検査前/検査後に洗浄器の点検メンテナンス、薬液の有効濃度、期限、処置具の点検など細かくチェックしています。



感染管理

内視鏡は1検査ごとに、ガイドラインに沿った方法で器械による洗浄、消毒を行い、感染管理に努めています。



新しく検査準備室、検査控え室が出来ました！

大腸内視鏡検査の前処置専用の部屋が出来ました。飲みにくい洗腸液もゆったりと落ち着いた環境で飲むことができるようになりました。検査準備室には看護師も常在しておりますので、ご質問やご相談など、すぐに対応します。



検査準備室



検査控え室

内視鏡室の看護師の中には、日本消化器内視鏡学会により資格認定された内視鏡のエキスパートである内視鏡技師の資格を持った看護師も勤務しています。

最近、便が細くなった、便秘がひどい、便が黒いまたは便に血が混じる、胸焼け、げっぷ、ものが飲み込みにくい、胃痛、すっぱいものがこみあげるなど、何か心配な症状がある方は内視鏡検査をお勧めします。

今後も患者様中心に、最良の検査、治療、看護が提供できるようスタッフ全員で取り組んで行きたいと思っております。

内視鏡主任看護師・内視鏡技師
：岡本 和子